

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

**注意**

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

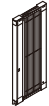
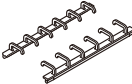
<施工上のご注意 つづき>

ポイント

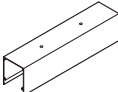
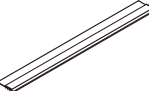
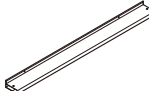
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■梱包明細表 ※施工前に部材・部品が揃っているか必ず確認してください。

【1】 網戸本体セット

名 称	略 図	員 数	
		A	B
収納網戸		1	1
部品箱		1	1
下がり止めブラシ		10	10
ブラシストッパー		4	4
アンカープレート		4	—
パネル開き止め		1	1
パネル開き止め裏板		1	1
【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		8	—
【1-2】φ4×8 トラスタッピンネジ3種 D=8		3	3

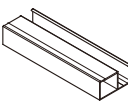
【2】 上枠・下レールセット

名 称	略 図	員 数
上枠		1
下レール		1
上枠取付材		1

【3】 戸当り・吊元枠セット

名 称	略 図	員 数
戸当り枠		1
吊元枠		1

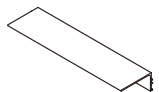
【4】下レールスペーサーセット

名 称	略 図	員 数
		L12・L18
下レールスペーサー		1
下レールスペーサー 小口カバー		1

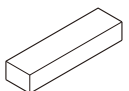
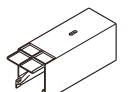
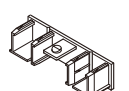
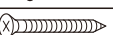
【4】下レールスペーサーセット つづき

名 称	略 図	員 数
		L12・L18
【4-1】φ4×20サラタッピンネジ1種		8
【4-2】φ4×30ナベタッピンネジ1種		8
【4-3】S6フィッシャープラグ		8
【4-4】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		8

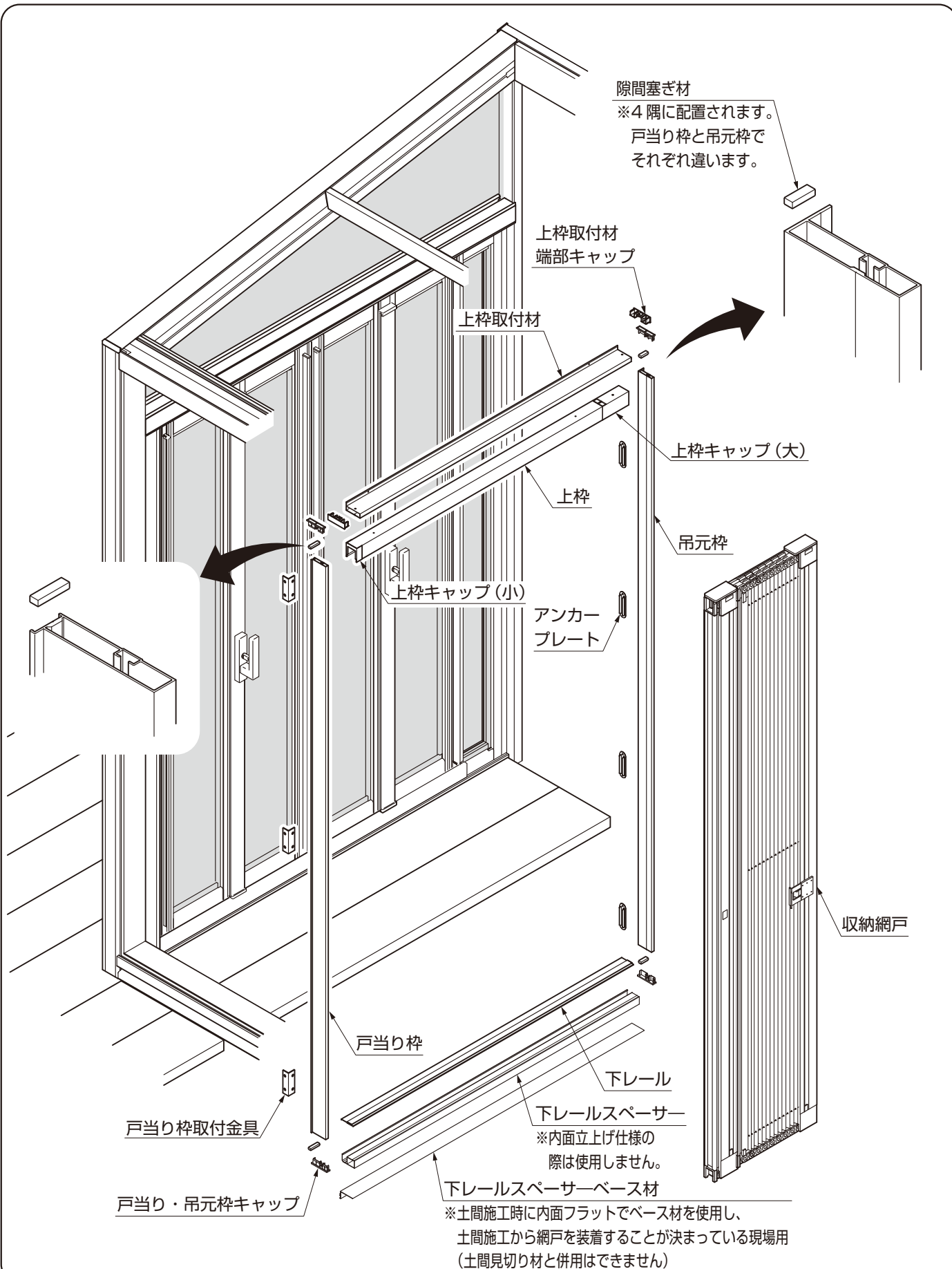
【5】下レールスペーサーベース材セット

名 称	略 図	員 数			
		L12	L18	L24	L30
下レールスペーサー ベース材		1	1	1	1
【5-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	7	8	10

【6】部品セット

名 称	略 図	員 数
網戸枠固定金具		12
戸当り枠取付金具		12
隙間塞ぎ材（吊元枠用）		4
隙間塞ぎ材（戸当り枠用）		4
上枠キャップ（小）		2
上枠キャップ（大）		2
上枠取付材端部キャップ		4
【6-1】φ4×16サラドリルネジ		10
【6-2】φ4×20サラタッピンネジ1種		10
【6-3】φ4×40サラタッピンネジ1種		10
【6-4】S6フィッシャープラグ		10
【6-5】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		112
【6-6】φ4×75ナベタッピンネジ1種		3
取扱説明書<UD083>	—	1
取付説明書<E374>	—	1

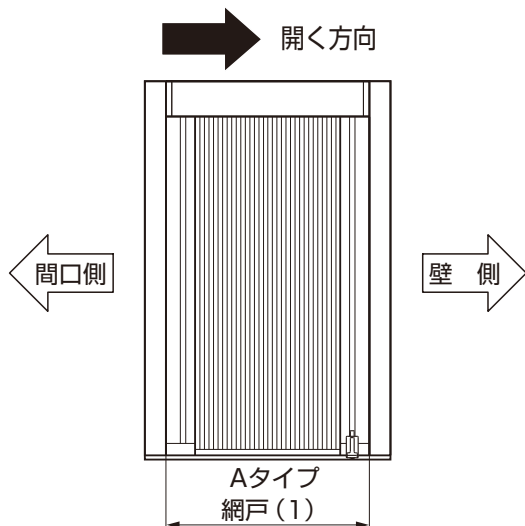
1. 各部名称



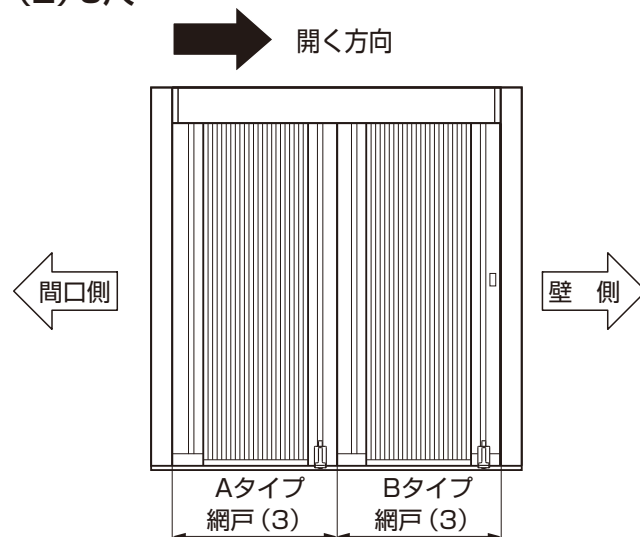
2. 網戸パネル展開図

2-1 出幅方向

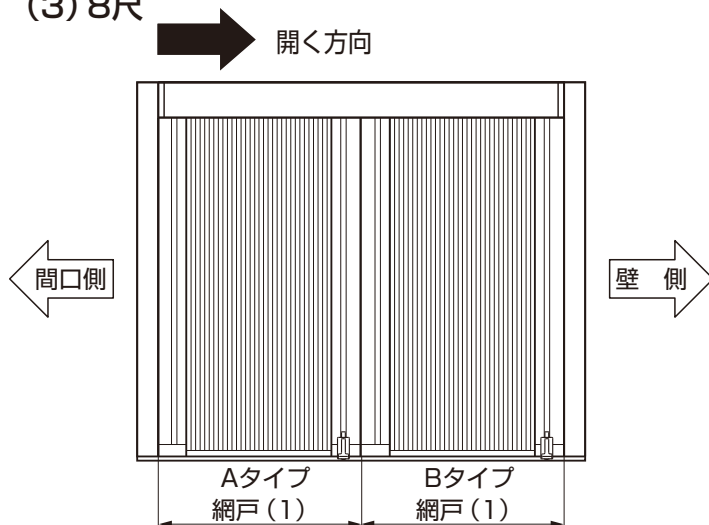
(1) 4尺



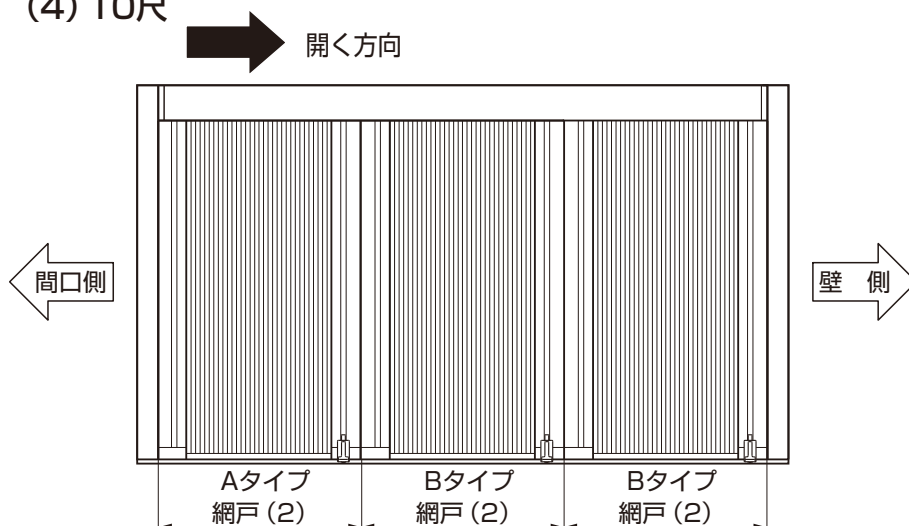
(2) 6尺



(3) 8尺



(4) 10尺



3. 床フラット仕様の場合の事前施工 ※デッキ施工、土間施工共通の手順です。

3-1 部材の加工

(1) 下レールスペーサーの加工

表3-1

	標準タイプの場合			腰壁タイプの場合		
	n	L	切断寸法	n	L	切断寸法
4尺	1	1170	—	1	1147	23
6尺	2	1770	—	2	1747	23
8尺	3	2370	—	3	2347	23
10尺	4	2970	—	4	2947	23
折戸1枚抜き 8尺	1	1490	280	1	1467	303
折戸1枚抜き 10尺	2	2090	280	2	2067	303

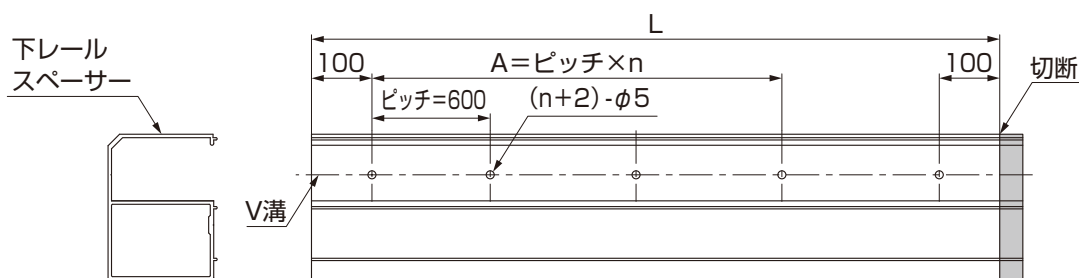


図3-1

①表3-1、図3-1を参照して、下レールスペーサーに切断および穴加工をしてください。

(2) 下レールスペーサーベース材の加工 ※土間施工の場合

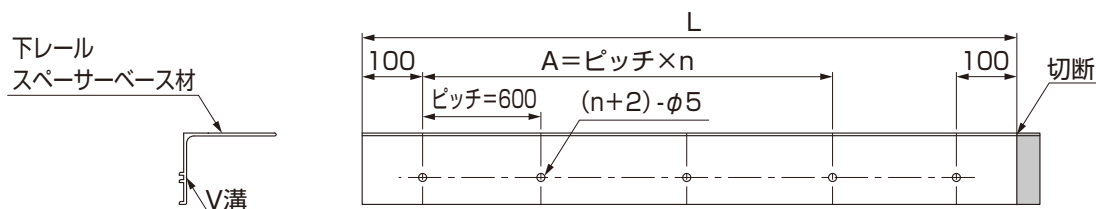


図3-2

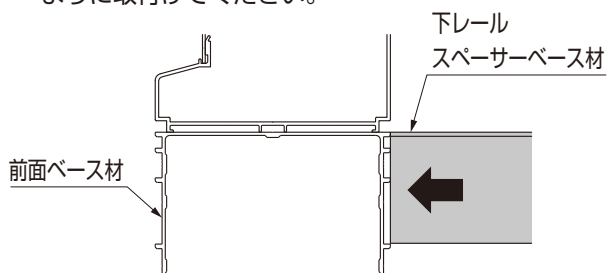
①表3-1、図3-2を参照して、下レールスペーサーベース材に切断および穴加工をしてください。

3-2 下レールスペーサーベース材の取付け

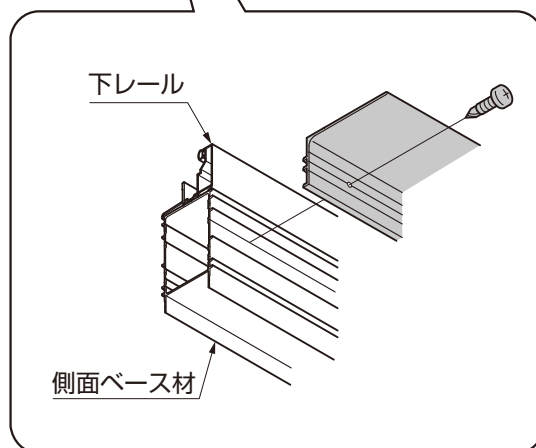
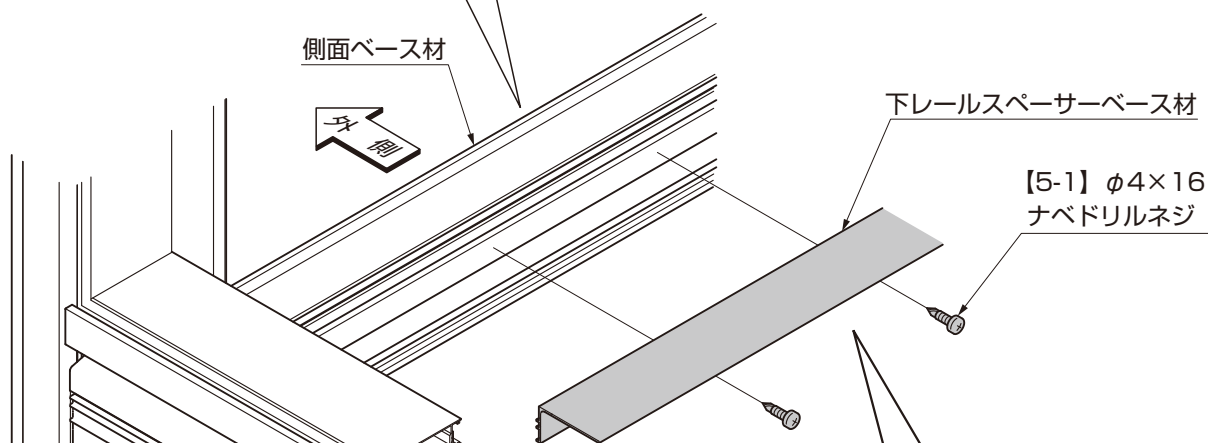
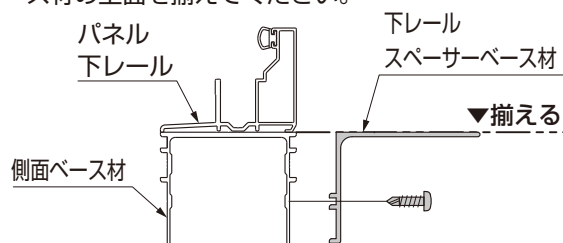
※土間打設前に「下レールスペーサー」を取付ける場合の手順です。

ポイント

- 下レールベース材は前面ベース材に突き当たるように取付けてください。



- 下レールスペーサーベース材の上面と側面ベース材の上面を揃えてください。



- ①下レールスペーサーベース材を側面ベース材に【5-1】で取付けてください。

3. (つづき)

3-3 下レールスペーサーの取付け

ポイント

●樹ら楽ステージへの固定は締付けトルク1.0N・mで固定してください。

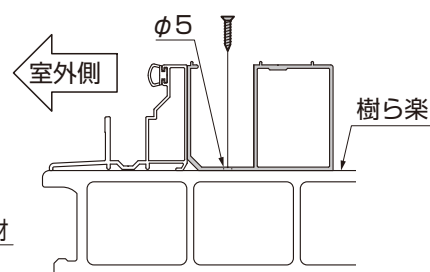
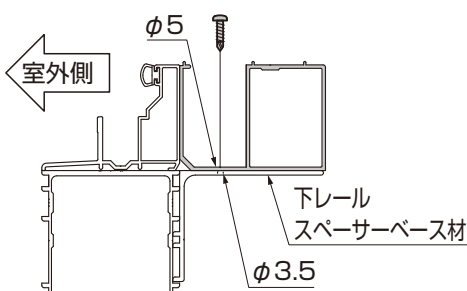
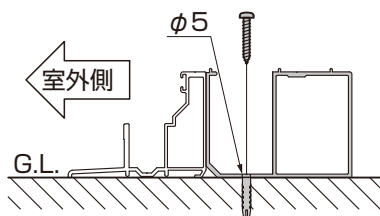


表3-1 土間フラット仕様

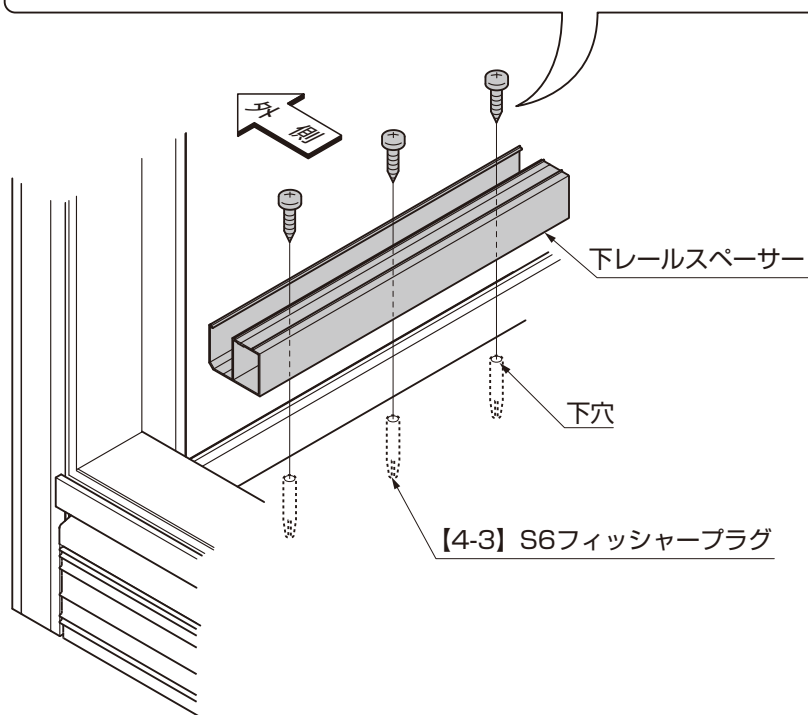
固定先	下レール固定用ネジ
土間用	[4-2] $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種 [4-3] S6フィッシャープラグ

表3-2 土間フラットスペーサーベース材仕様

固定先	下レール固定用ネジ
下レール スペーサー ベース材用	[4-4] $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ

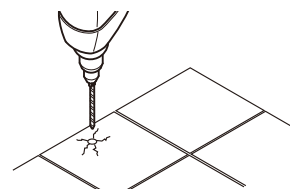
表3-3 デッキフラット仕様

固定先	下レール固定用ネジ
樹ら楽ステージ用	[4-1] $\phi 4 \times 20$ サラタッピンネジ1種



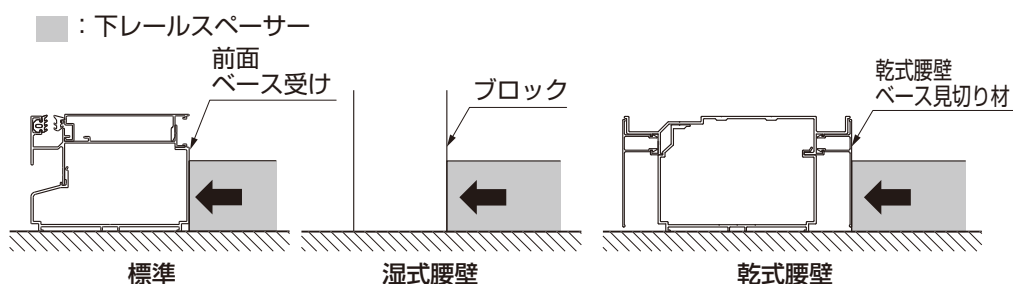
ポイント

- 下穴加工サイズは内面の施工方法によって異なります。
- タイル施工の場合は、タイルを破損しないよう慎重に下穴をあけてください。



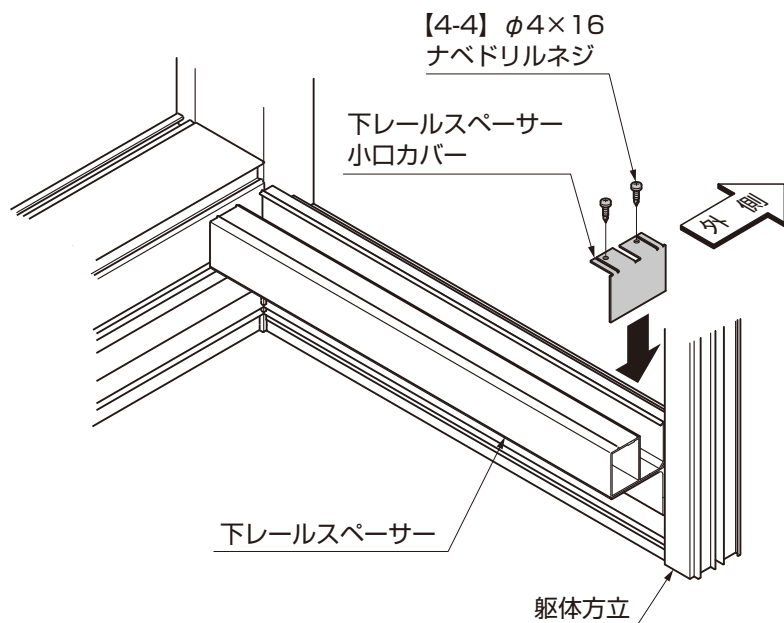
ポイント

●下レールスペーサーは、前面ベース受け・湿式腰壁用ブロックまたは乾式腰壁ベース見切り材へ突き当たるように取付けてください。



①固定先に応じたネジで下レールスペーサーを固定してください。

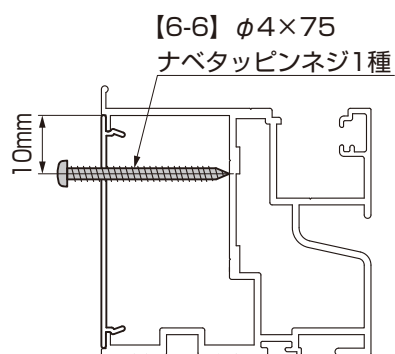
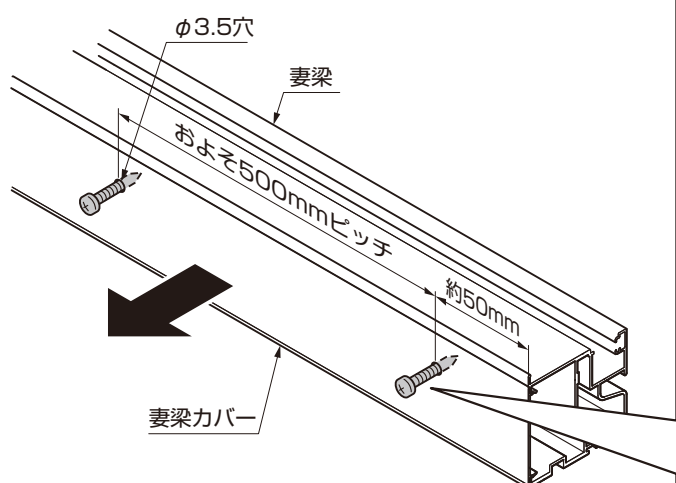
3-4 下レールスペーサー小口カバーの取付け



- ①下レールスペーサー小口カバーを
下レールスペーサーに【4-4】で
取付けてください。

4. 枠取付前準備

4-1 取付前準備 ※本体を施工後、取付けの場合に行ってください。



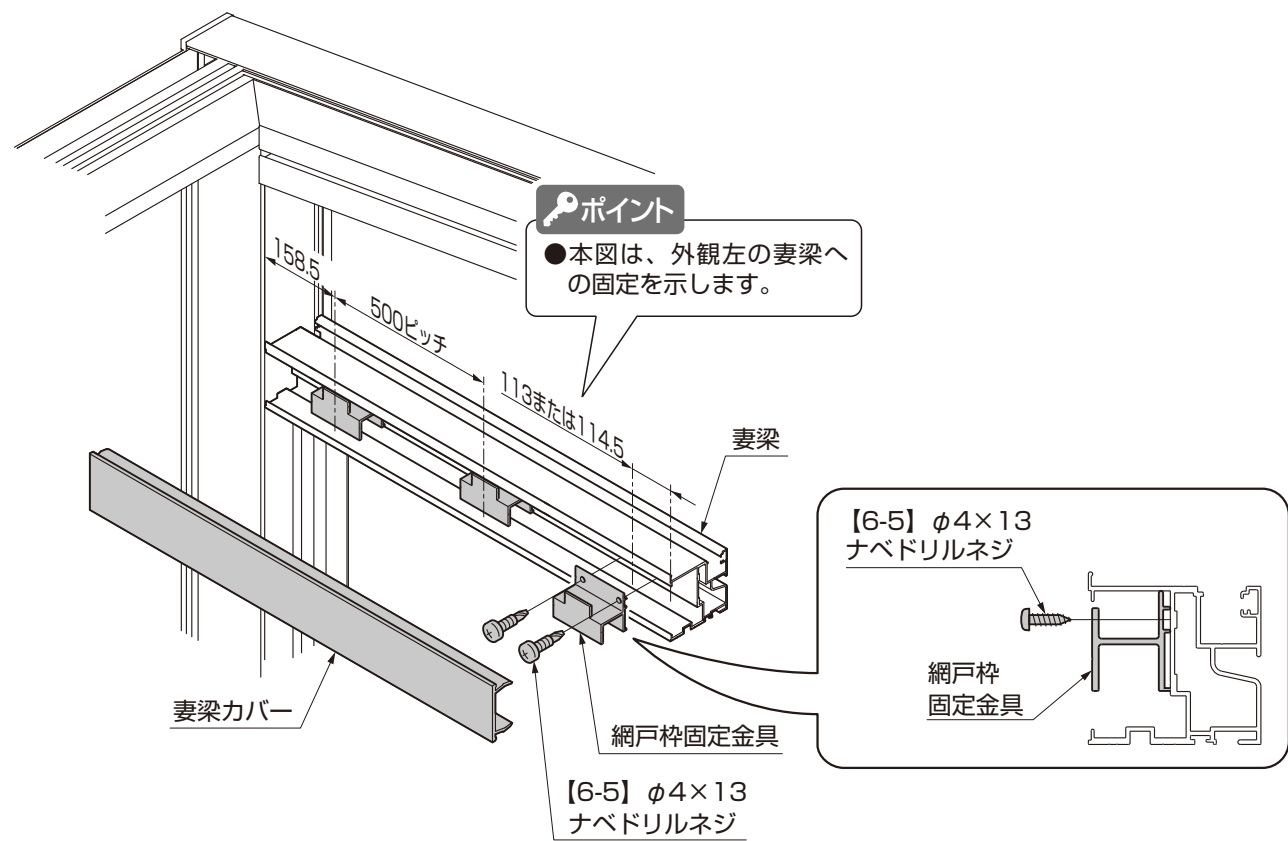
ポイント

- 【6-6】をインパクトドライバーで
締めこむと、妻梁カバーが引っ張ら
れて外れます。

- ①妻梁カバー上部にφ3.5穴をあけ、【6-6】で妻梁カバーを引っ張って取外してください。

4. (つづき)

4-2 網戸枠固定金具の取付け



ポイント

●外観右の妻梁への固定時のピッチ寸法は下図を参照してください。

【標準仕様の場合】

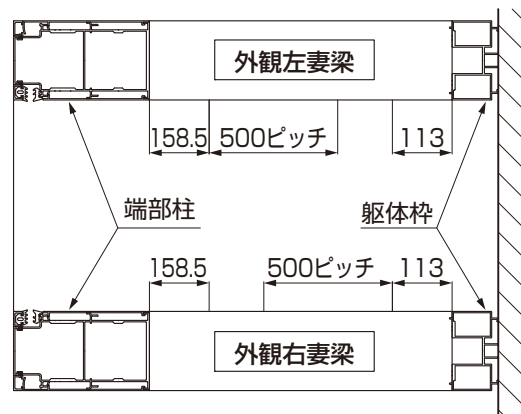


表4-1

サイズ	レール固定金具数	サイズ	レール固定金具数
4尺	3	8尺	5
6尺	4	10尺	6

【折戸一枚抜きの場合】

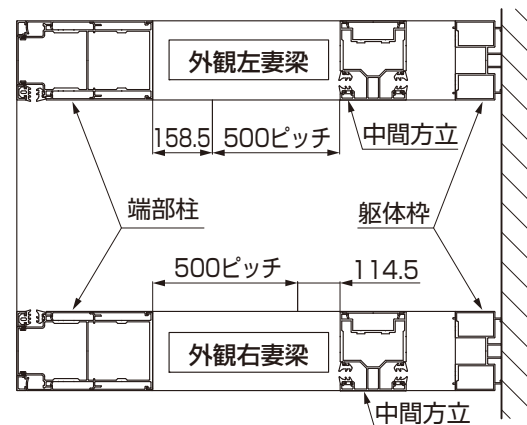


表4-2

サイズ	レール固定金具数
折戸1枚抜き 8尺	3
折戸1枚抜き 10尺	4

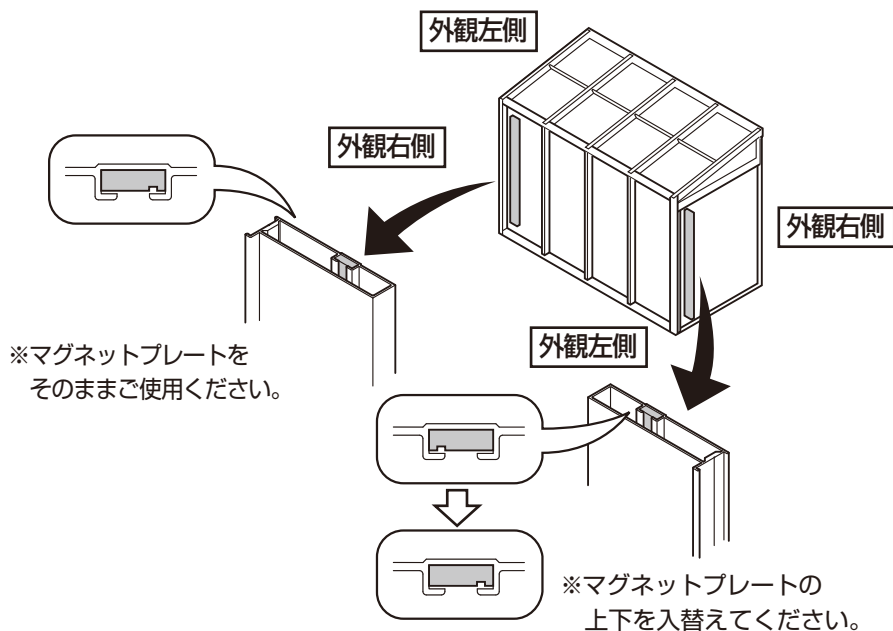
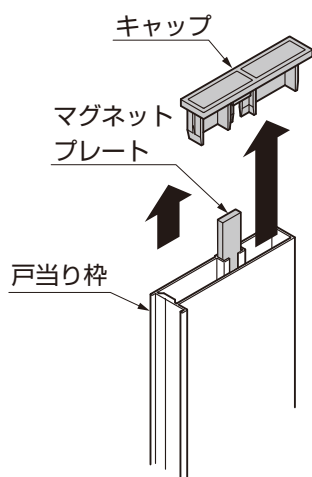
- ①網戸枠固定金具を妻梁に【6-5】で取付けてください。
- ②妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

5. 吊元枠、戸当り枠の取付け

5-1 戸当り枠の確認

ポイント

- 戸当り枠を上から見た時にマグネットプレートのスリットが図のようになっていることを確認してください。



- ①キャップを取外してください。
- ②戸当り枠内のマグネットプレートの上下を入替えてください。
- ③キャップを元に戻してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

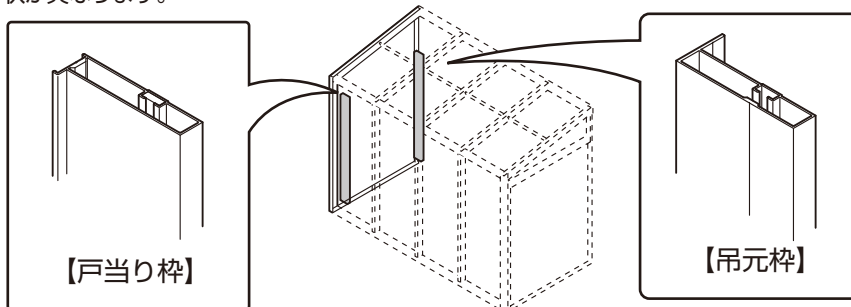
.....

.....

5. (つづき)

ポイント

- 戸当り枠と吊元枠は形状が異なります。



5-2 戸当り枠の取付け

ポイント

- 戸当り枠を土間、デッキまたはスペーサーの上に置き、隙間が生じないように【6-5】で取付けてください。

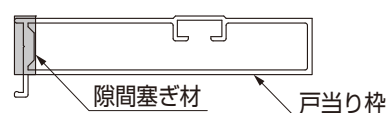
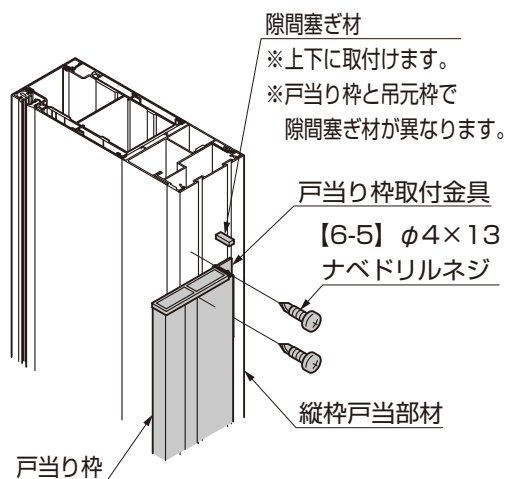
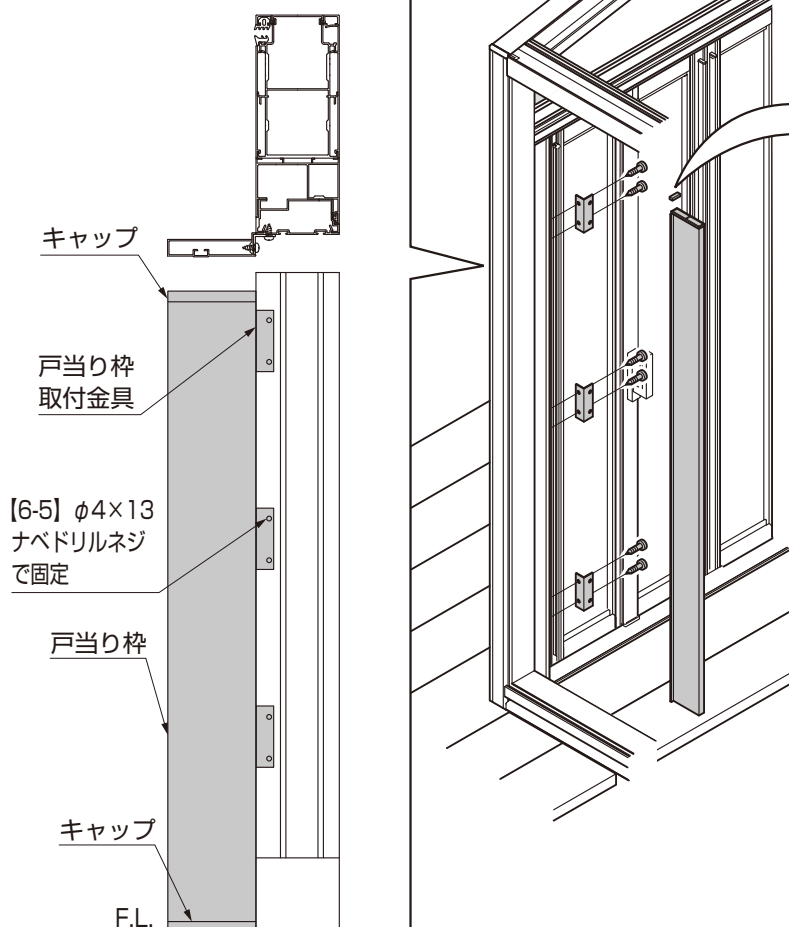


図5-1

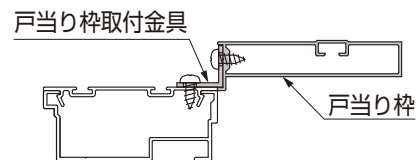


図5-2 標準タイプの場合

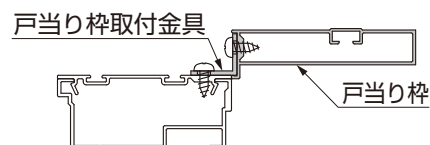


図5-3 腰壁タイプの場合

- ①戸当り枠取付金具を戸当り枠に【6-5】で取付けてください。
- ②隙間塞ぎ材を戸当り枠の上下に取付けてください。
- ③戸当り枠取付金具を縦枠戸当部材に【6-5】で取付けてください。

5-3 吊元枠の取付け

隙間塞ぎ材

※上下に取付けます。

※戸当り枠と吊元枠で
隙間塞ぎ材が異なります。

調整FIX縦枠

吊元枠

【6-5】φ4×13
ナベドリルネジ

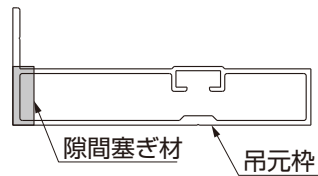
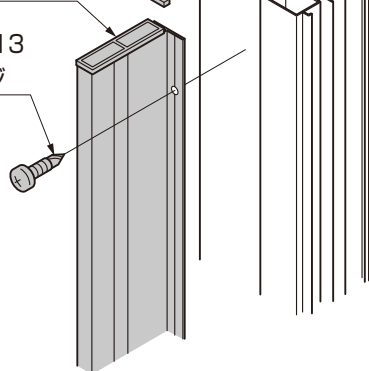
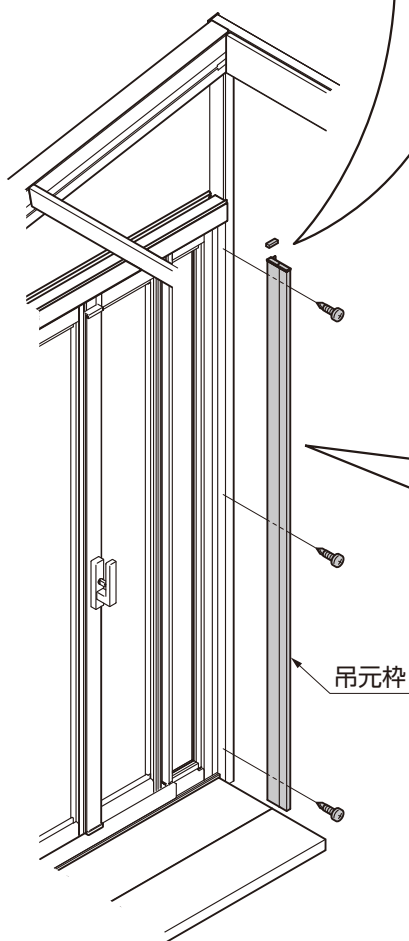
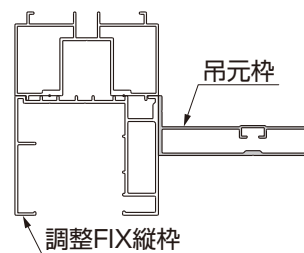
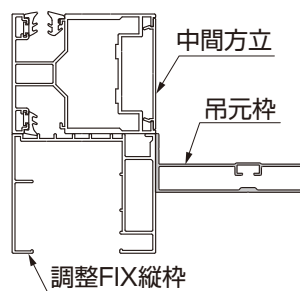


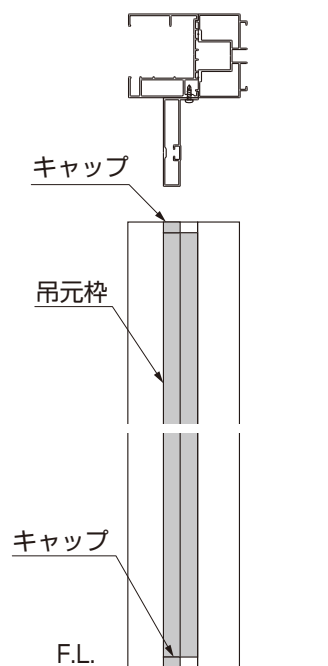
図5-4

●折戸1枚抜き仕様の場合 ●標準仕様の場合



ポイント

●戸当り枠を土間、デッキまたはスペーサーの上に
置き、隙間が生じないように【6-5】で取付けてく
ださい。



- ①隙間塞ぎ材を戸当り枠の上下に取付けてください。
- ②吊元枠を調整FIX縦枠に【6-5】で取付けてください。

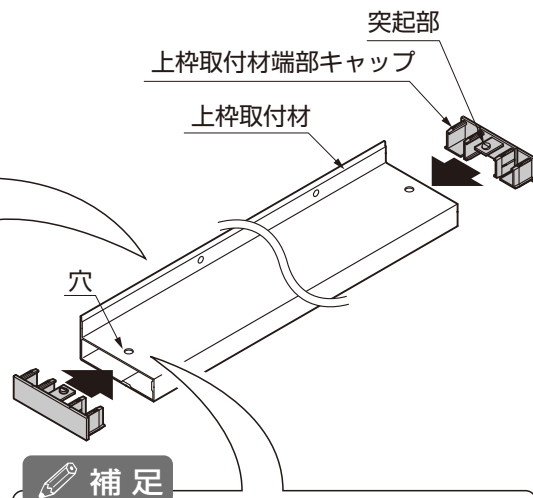
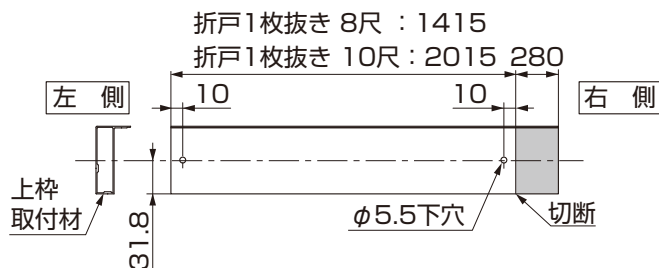
6. 上枠取付材の取付け

6-1 上枠取付部材の加工・組立て

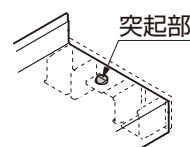
ポイント

【折戸1枚抜き仕様の場合】

- 切断および穴加工をしてください。
- 上枠取付材は必ず右側を切詰めてください。

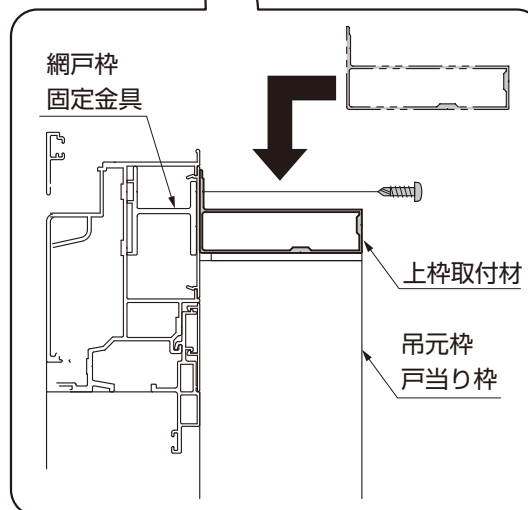
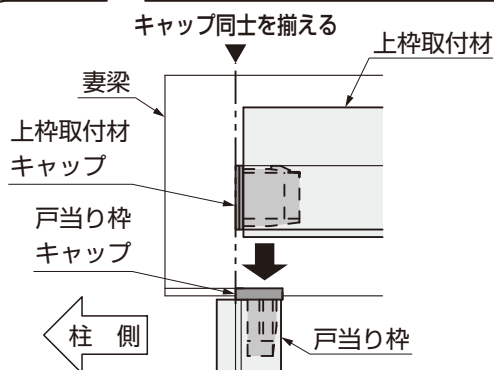
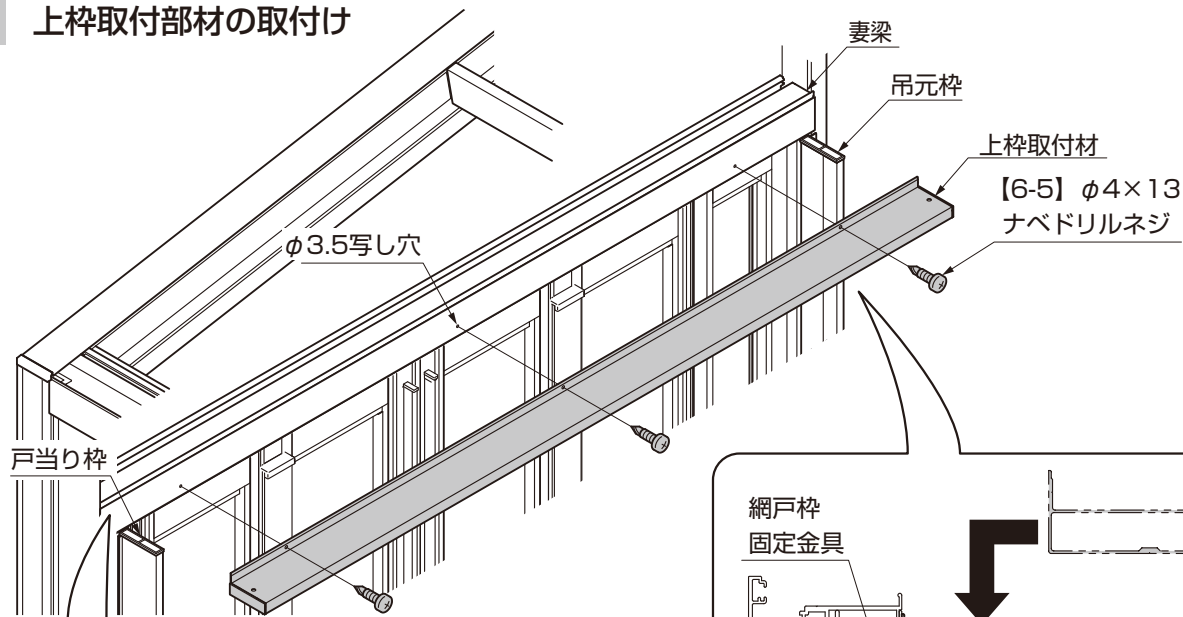


- 上枠取付材端部キャップの突起部を上枠上部の穴にはめてください。



①上枠取付材端部キャップを上枠取付材にはめ込んでください。

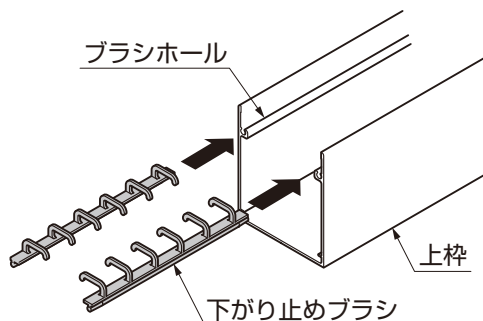
6-2 上枠取付部材の取付け



①上枠取付材を妻梁に取付けた網戸固定金具に【6-5】で取付けてください。

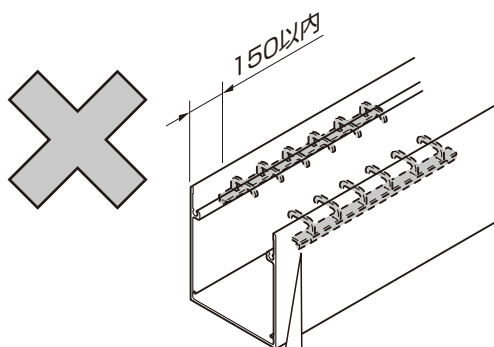
6-3 上枠の加工・組立て

(1) 下がり止めブラシの取付け



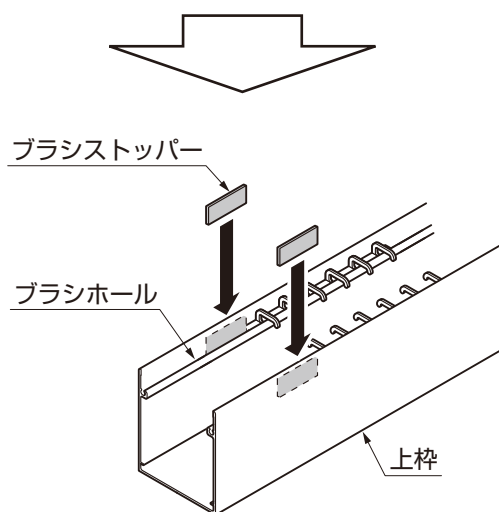
ポイント

●左右同じ数を挿入してください。



ポイント

●上枠両端部から150mm以内には取付けないでください。

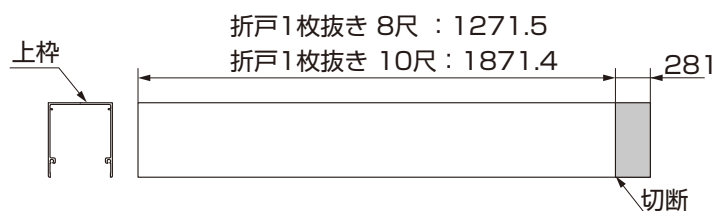


- ①下がり止めブラシを上枠両側のブラシホールに同数挿入してください。
- ②下がり止めブラシを所定の位置に配置してください。

ポイント

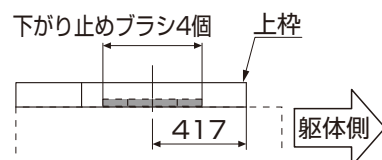
【折戸1枚抜き仕様の場合】

●上枠を下記のように切詰めてください。

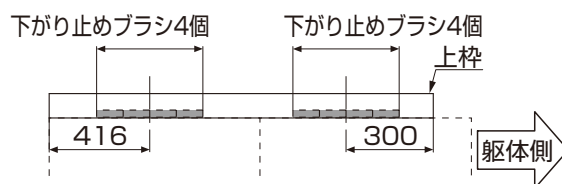


下がり止めブラシ：

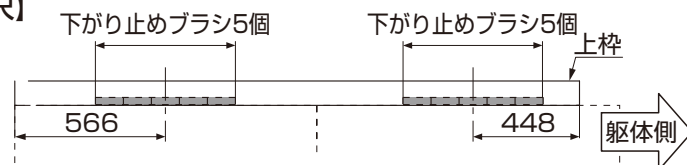
【4尺】



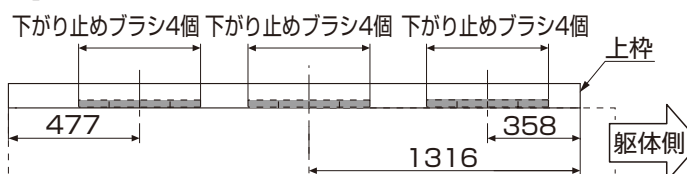
【6尺】



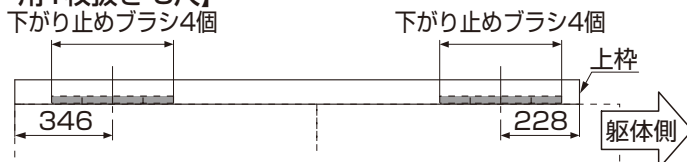
【8尺】



【10尺】



【折戸用1枚抜き 8尺】



【折戸用1枚抜き 10尺】

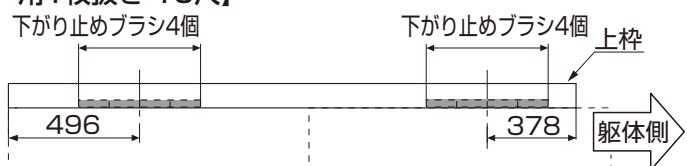
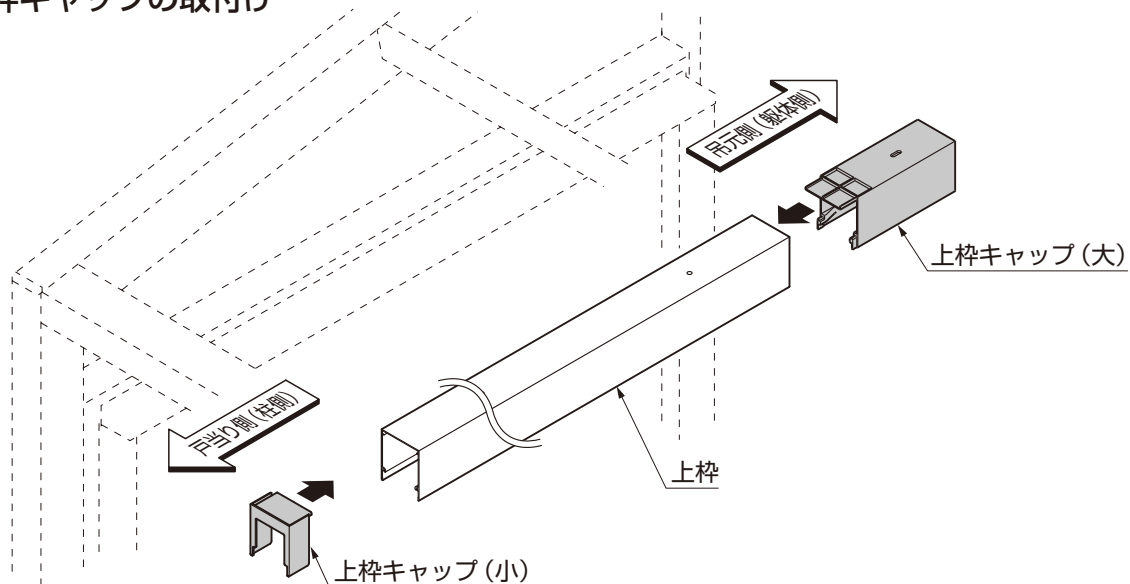


図6-1 下がり止めブラシ配置図

6. (つづき)

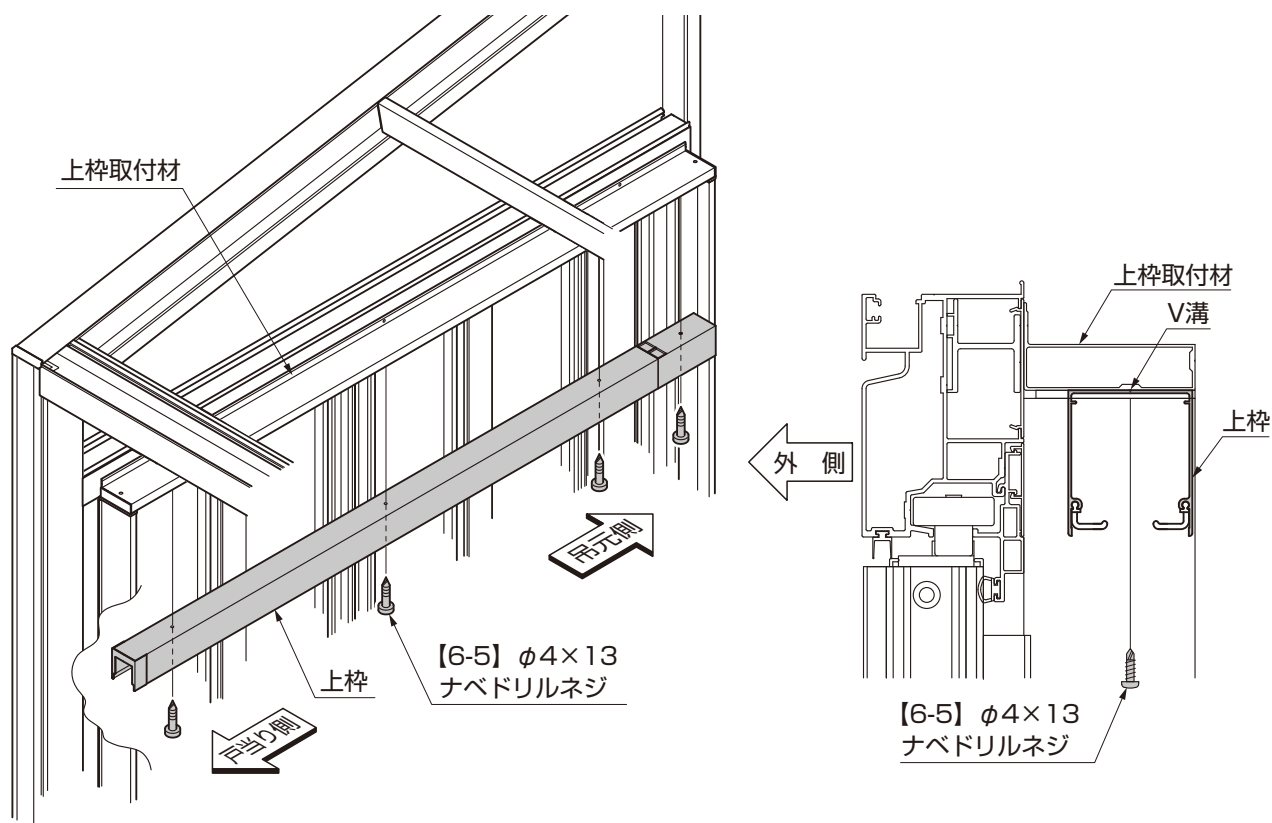
6-3 つづき

(2) 上枠キャップの取付け



- ①上枠キャップ (小) を上枠の戸当り側にはめ込んでください。
- ②上枠キャップ (大) を上枠の吊元側にはめ込んでください。

6-4 上枠の取付け



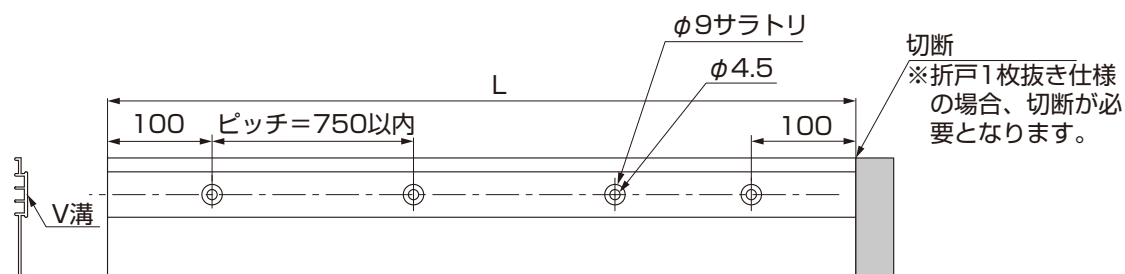
- ①上枠を上枠取付材のV溝に穴の中心を合わせて【6-5】で取付けてください。

7. 下レールの取付け

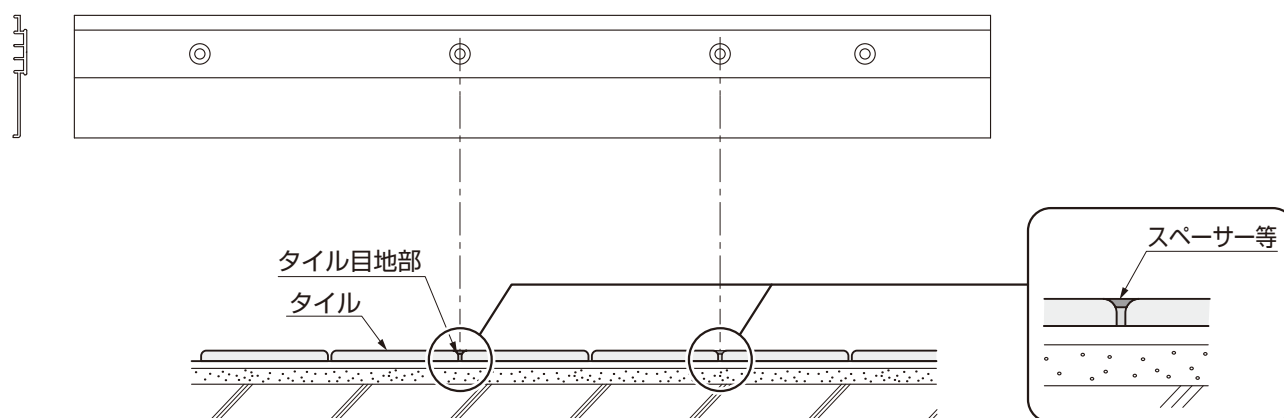
7-1 下レールの加工

表7-1

サイズ	L	切断寸法
4尺	1074.5	—
6尺	1674.5	—
8尺	2274.5	—
10尺	2874.5	—
折戸1枚抜き 8尺	1393.5	281
折戸1枚抜き 10尺	1993.5	281



①下レール真ん中のV溝に穴加工をしてください。



ポイント

- タイル仕様の場合、目地部分をネジ位置にする際は、目地とタイルの段差を必ずスペーサーなどで埋めてください。段差を残したままネジを取付けると、下レールが波打つおそれがあります。スペーサーは現場手配となります。

7. (つづき)

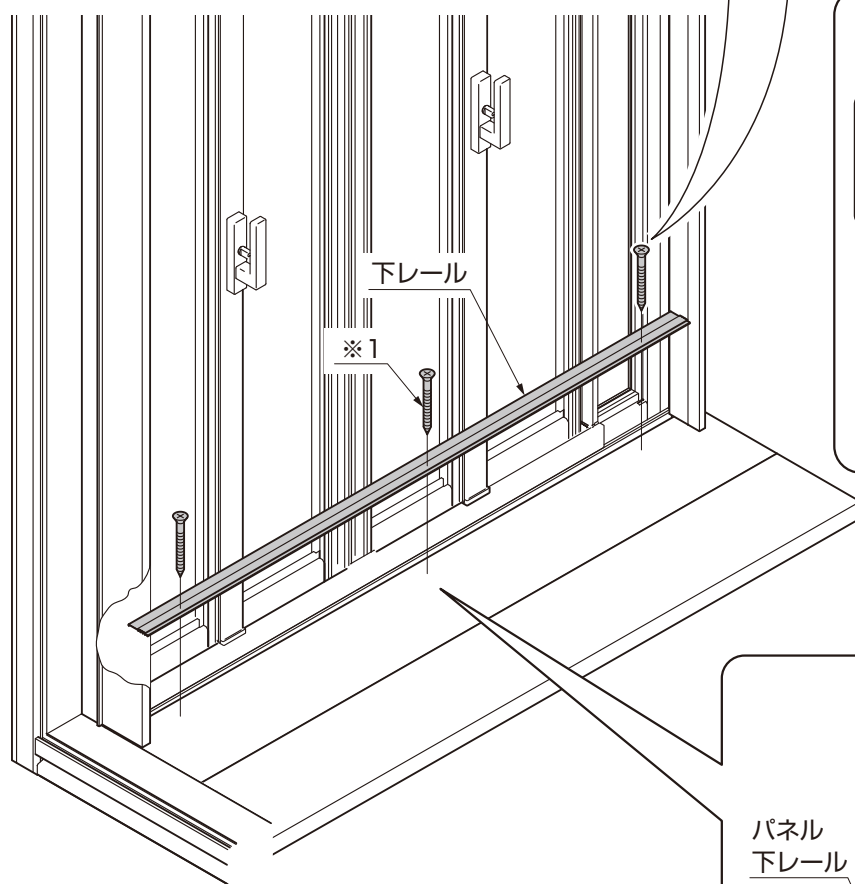
7-3 下レールの取付け

ポイント

- 土間施工では【6-4】をあらかじめ取付けてから、【6-3】で取付けてください。
- 樹ら楽ステージへの固定は、締付けトルク1.0N・mで固定してください。

表7-1

固定先	下レール固定用ネジ	フィッシャープラグ
土間用	【6-3】 $\phi 4 \times 40$ サラタッピンネジ1種	【6-4】 S6フィッシャープラグ
樹ら楽ステージ用	【6-2】 $\phi 4 \times 20$ サラタッピンネジ1種	不要
網戸下レール スペーサーベース材用	【6-1】 $\phi 4 \times 16$ サラドリルネジ	不要



【タイルの場合】

ポイント

- タイル施工の場合は、タイルを破損しないよう慎重に下穴をあけてください。

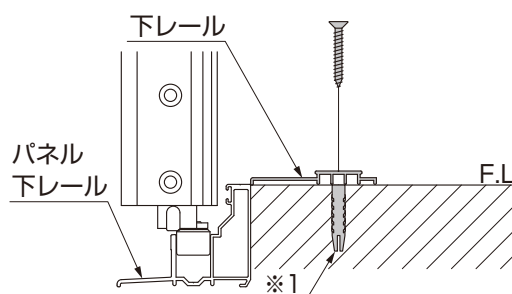
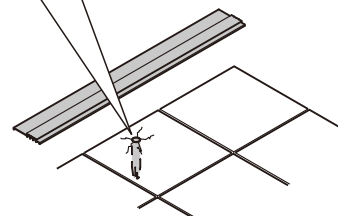


図7-1

①下レールをパネルの下レールに当たるように固定してください。

8. パネル開き止めの取付け

8-1 取付け穴の加工

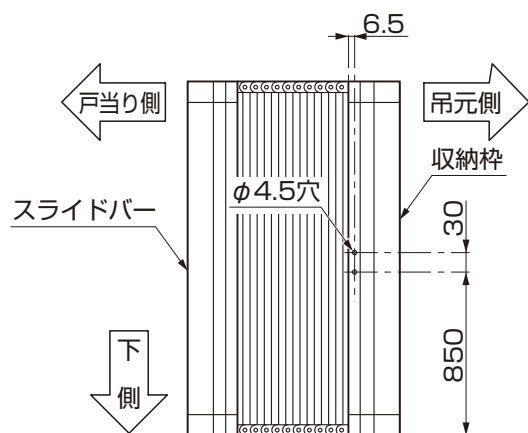
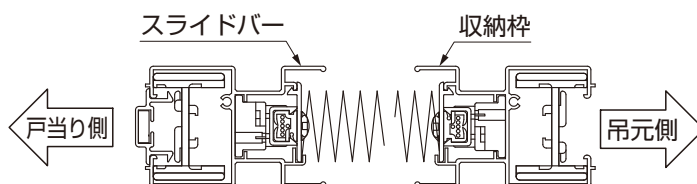
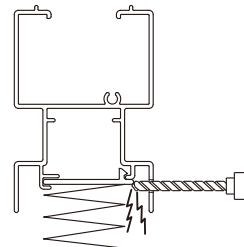


図8-1 網戸本体 内観図

①網戸本体の収納枠の家側にφ4.5の穴加工をしてください。(図8-1参照)

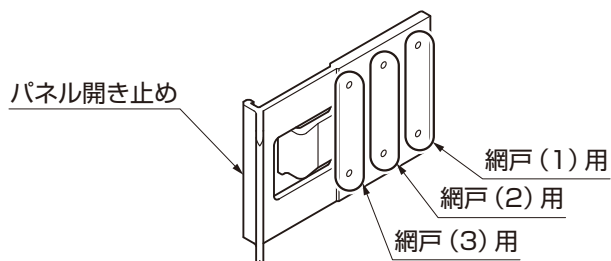
ポイント

●収納枠への穴加工の際に貫通したドリルの先が網戸に当たってキズつけないように注意してください。



8-2 パネル開き止めの取付け

(1) パネル開き止めの穴加工 ※取付ける網戸の幅によって穴加工位置が異なります。



ポイント

●網戸の幅によってたたみ幅も異なります。パネル開き止めのくぼみで固定位置を調整してください。

①取付ける網戸の種類に合わせて、パネル開き止めにφ4.5の穴加工をしてください。

(2) パネル開き止めの取付け

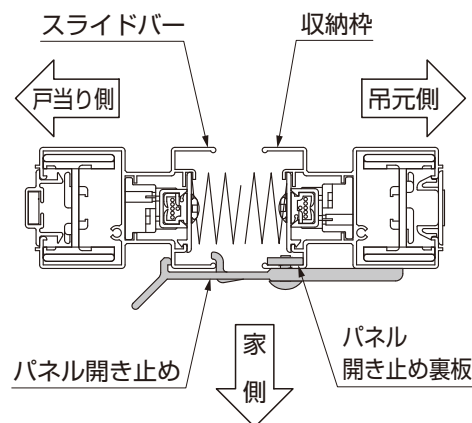
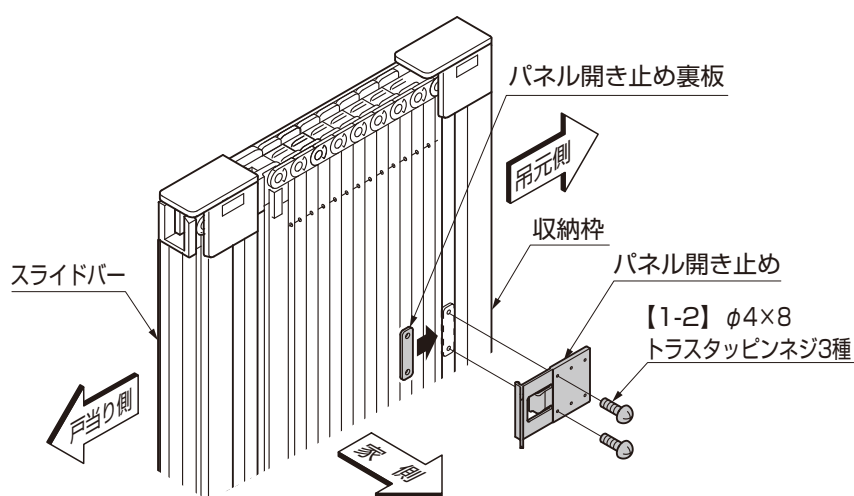


図8-2 網戸収納時

①吊元側の収納枠にパネル開き止め裏板を挿入し、パネル開き止めに【1-2】で取付けてください。

ポイント

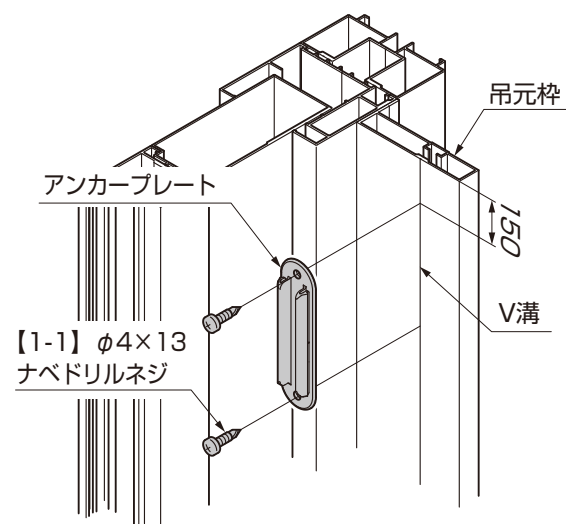
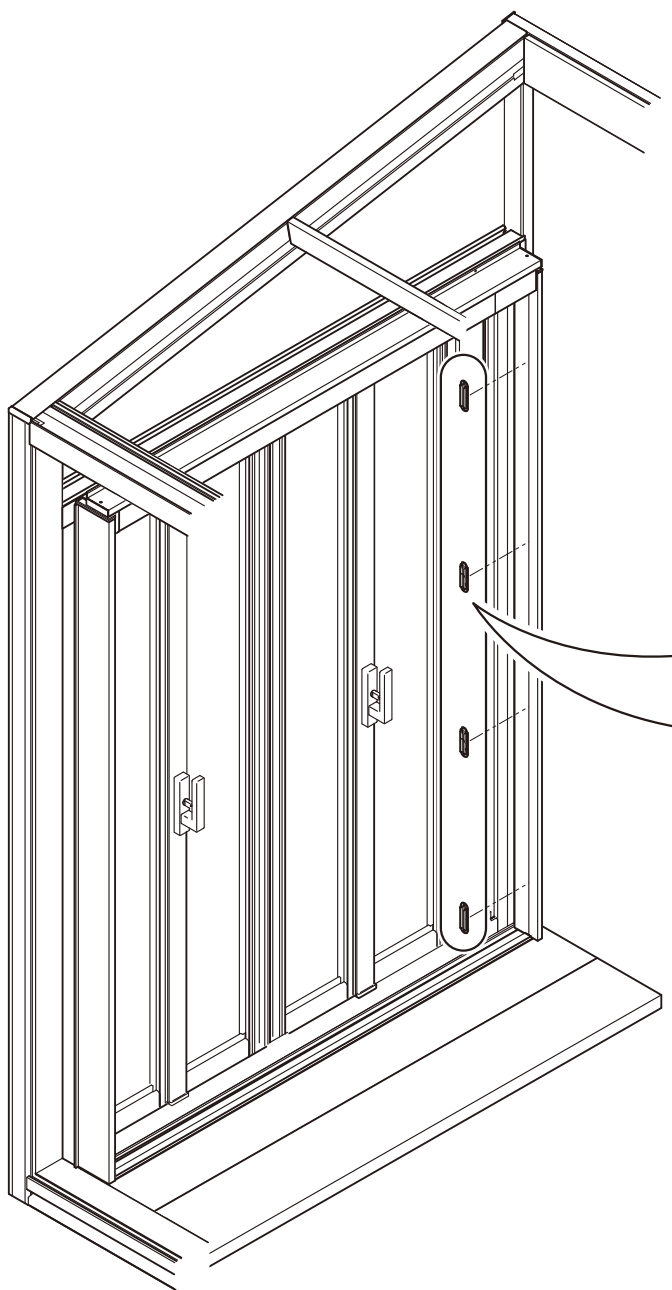
●パネル開き止めは締付けトルク1.5N・mで取付けてください。

9. 網戸の建込み

9-1 アンカープレートの取付け

ポイント

●取付けが完了するまで網戸本体を開閉しないでください。網戸本体が作動不良を起こすおそれがあります。



ポイント

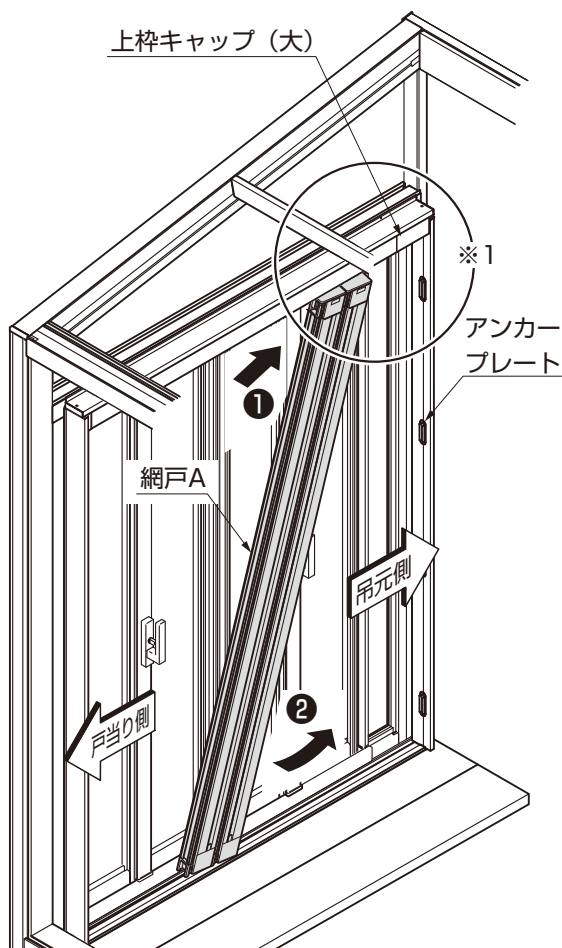
- 吊元枠1本あたり4個を取付けてください。
- 必ず最後は手で止めてください。電動ドライバーなどで強く締めすぎたりするとアンカープレートが変形したり破損するおそれがあります。
- アンカープレートは吊元枠端部（上下共）から150mm離れた位置に固定してください。

①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【1-1】で固定してください。

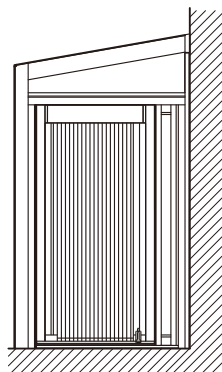
9-2 網戸の建込み

ポイント

●網戸本体に貼ってある、「上側」シールを上にして建込んでください。



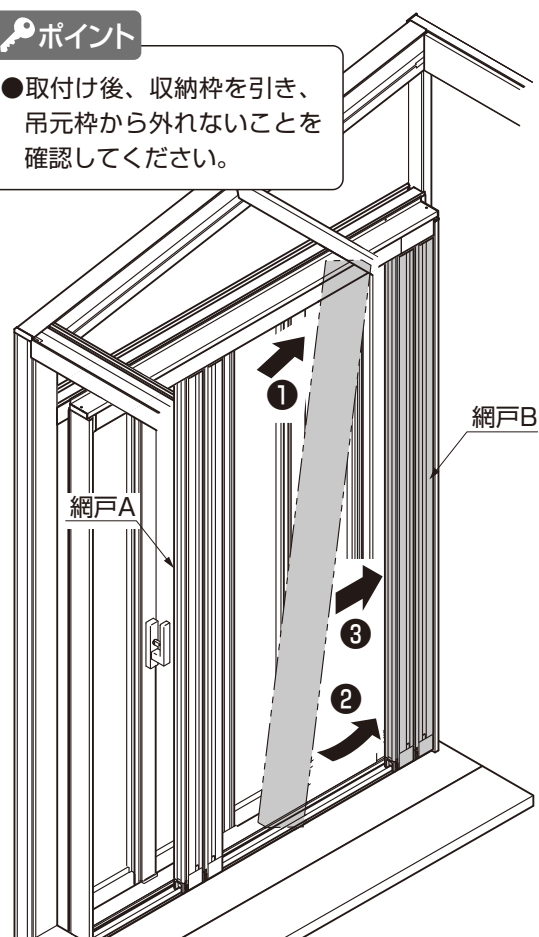
(1) 4尺の場合



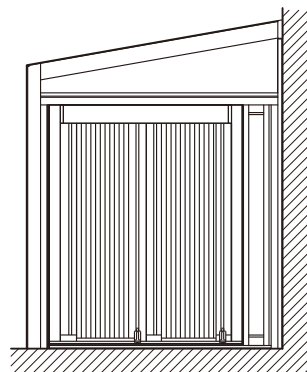
- ① 網戸A (戸当り用) を斜めにして、上枠キャップ (大) から上枠に入れてください。
- ② 網戸Aを吊元枠に押付けてアンカープレートにはめて固定してください。

ポイント

●取付け後、収納枠を引き、吊元枠から外れないことを確認してください。



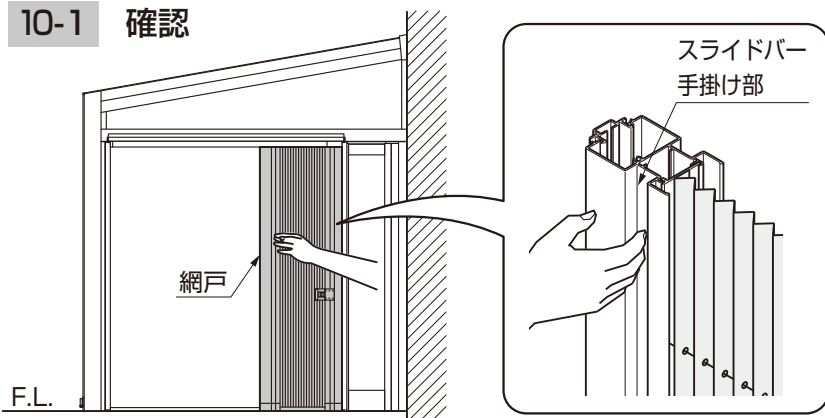
(2) 6尺、8尺、10尺の場合



- ① 網戸A (戸当り用)、網戸B (吊元・連結用) の順で網戸を斜めにして上枠キャップ (大) から上枠に入れてください。
- ② 網戸Bを吊元枠に押付けてアンカープレートにはめて固定してください。
- ③ 網戸Bに網戸Aを連結してください。

10. 網戸の確認と調整

10-1 確認



① 網戸の開閉に異状がないか確認してください。

補足

● 開閉はスライドバーの手掛け部に手をかけて行なってください。

10-2 調整 ※網戸の調整は基本的には不要ですが、開閉時にガタツキ等がある場合、引渡し前に行なってください。

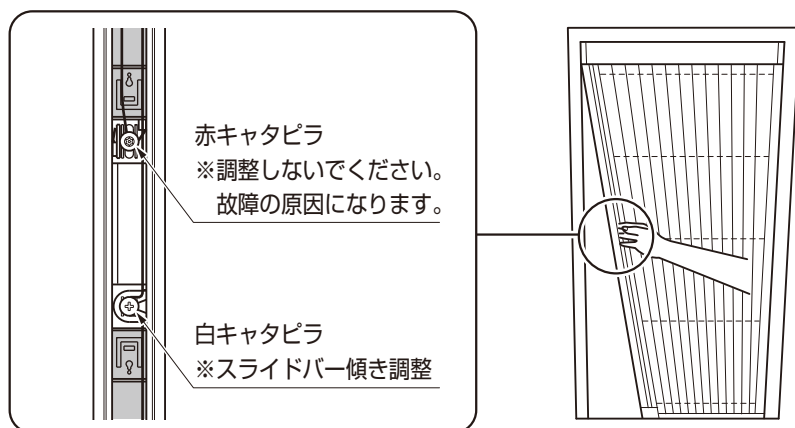


図10-1

補足

● 戸当り側又または、収納枠側の枠が図10-1のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合に調整を行ってください。

(1) マグネットホルダーの取外し

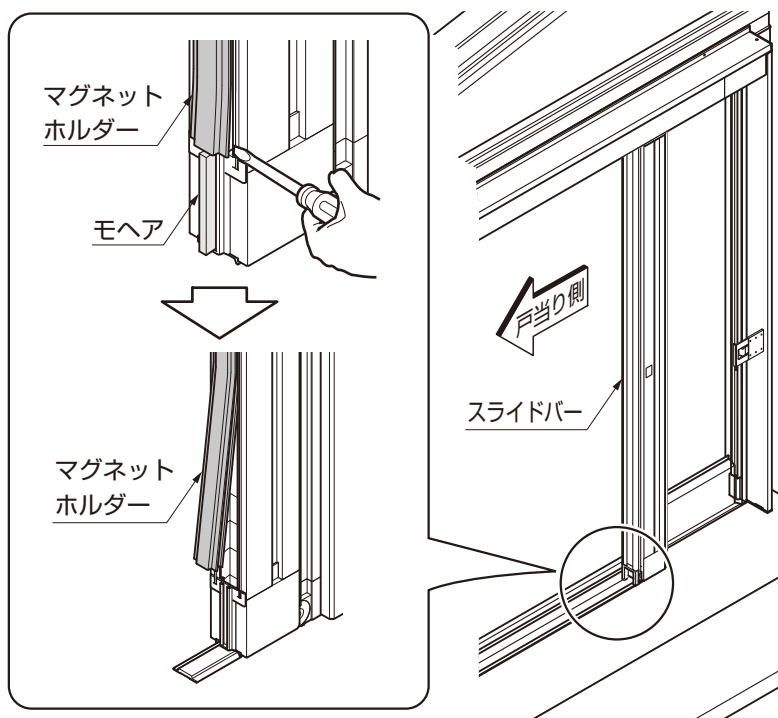


図10-2

① マグネットホルダー下部とモヘアの間にマイナスドライバー差込んでください。

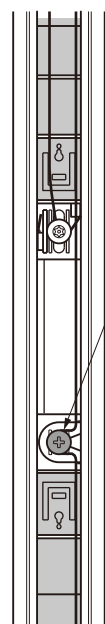
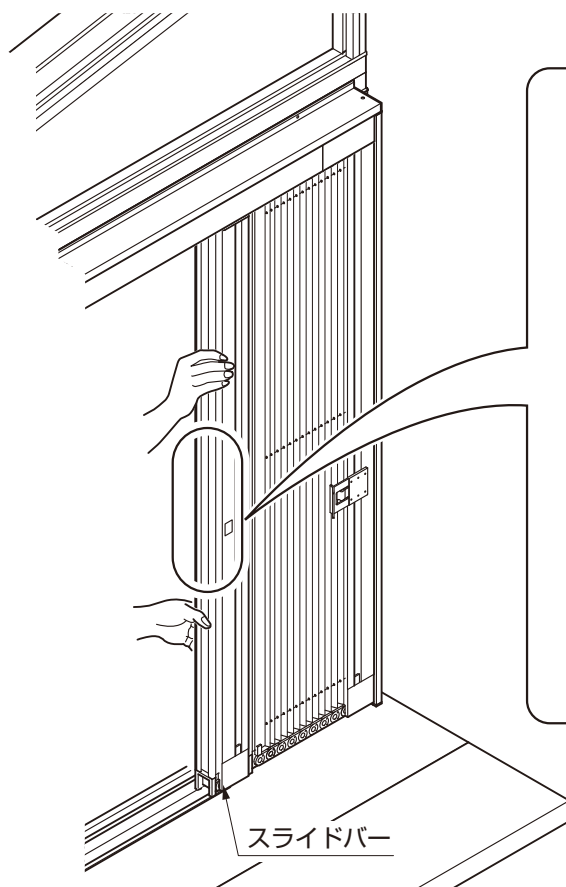
② そのままマイナスドライバーを持ち上げて、マグネットホルダーをスライドバーから取外してください。

③ マグネットホルダーの外れた部分を持って、下から引きはがすように、上まで全部取外してください。

ポイント

● マグネットホルダー内のマグネットには向きがあります。元に戻す際に向きを間違えないために、テープなどで印をしておくことをお勧めします。

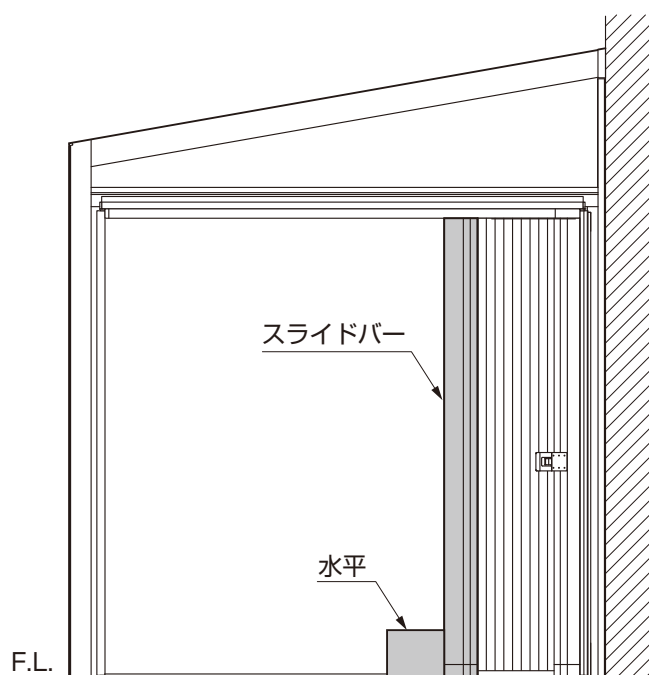
(2) スライドバーの調整



白キャタピラ調整ネジ
※スライドバー傾き調整

ポイント

●ネジは必ず手で締めてください。
強く締めすぎたり、電気ドライバ
ーを使用すると、ネジが破損する
場合があります。



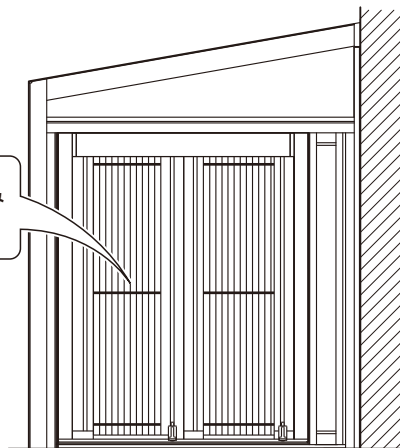
- ①白キャタピラネジを緩めてください。
- ②スライドバーの上下を持って水平にしてください。
- ③白キャタピラネジを締めてください。

11. 網戸のたるみ調整

11-1 確認

ポイント

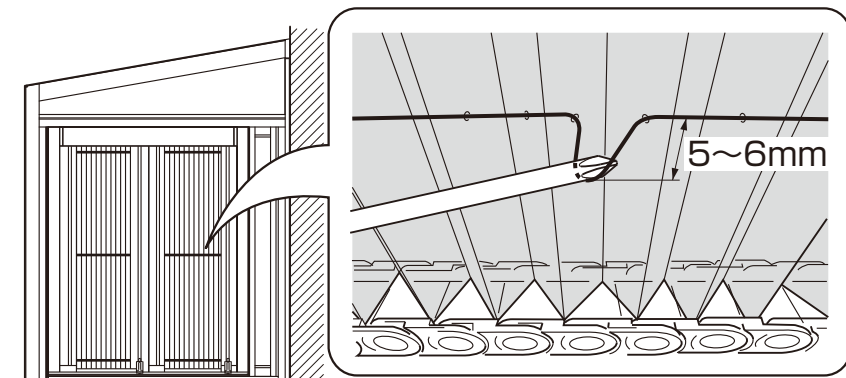
- ワイヤー部分でたるみの確認を行います。



①網戸を開いてください。

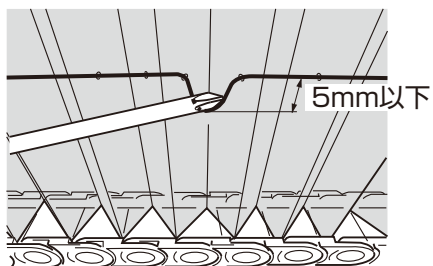
ポイント

- 網戸を開いた状態でたるみの確認を行います。



①ワイヤーのたるみが5~6mmであることを確認してください。

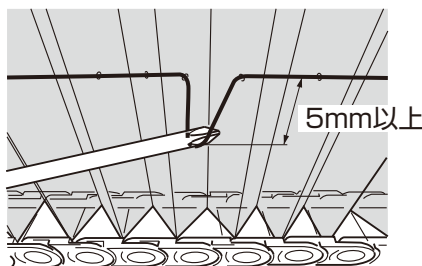
【たるみが5mm以下の場合】



ポイント

- 網戸がはりすぎです。

【たるみが5mm以上の場合】

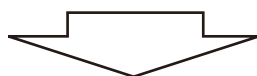


ポイント

- 網戸がたるみすぎです。

ポイント

- 網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合は次ページの「11-2 調整」を行なってください。



11-2 調整

ポイント

●網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合のみ本作業を行ってください。

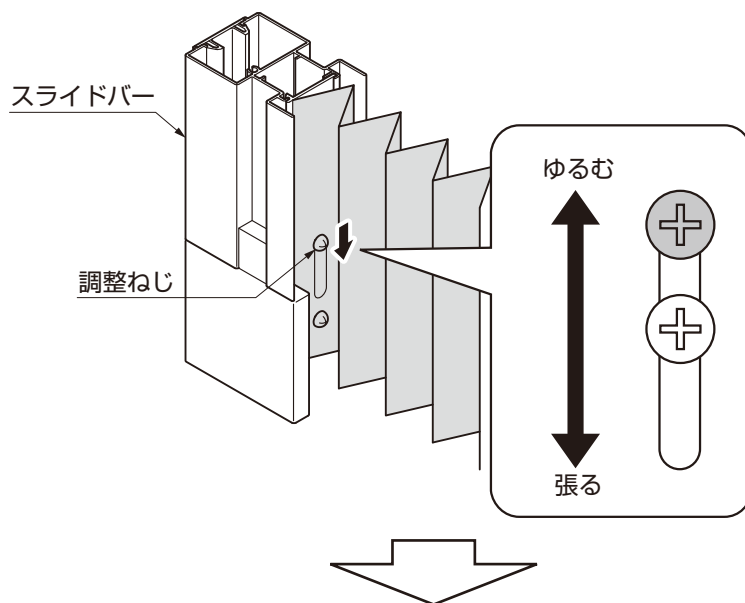
ポイント

●ワイヤー部分でたるみの確認を行ないます。

ポイント

●網戸両端部のネジで調整を行います。

①網戸を開いてください。



②調整ネジを上下させて網戸のはりを調整してください。

ポイント

●調整が完了したら、再度「確認」を行ってください。

12. マグネットホルダーの確認

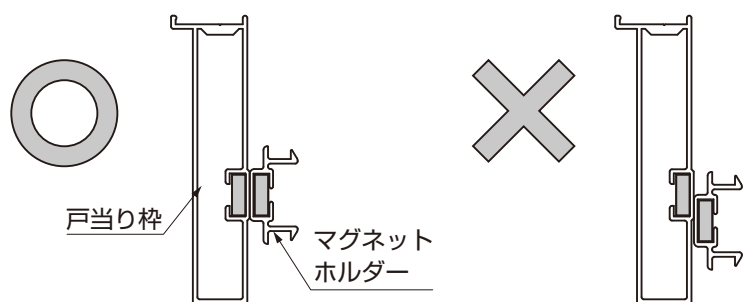


図12-1 片引きの場合

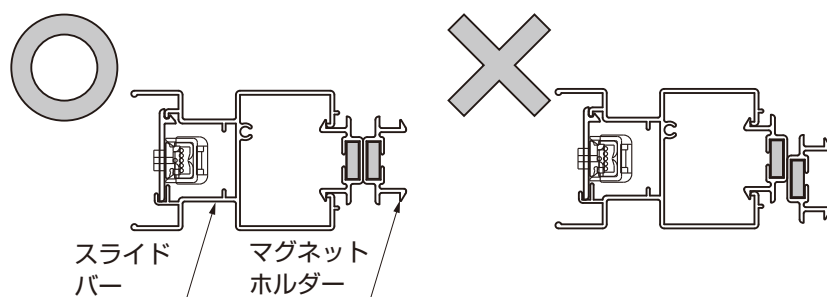


図12-2 引き分けの場合

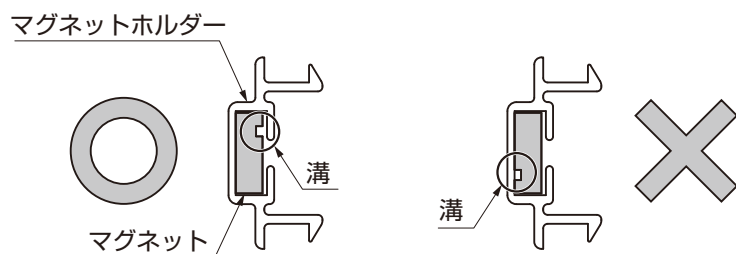


図12-3 片引きの場合

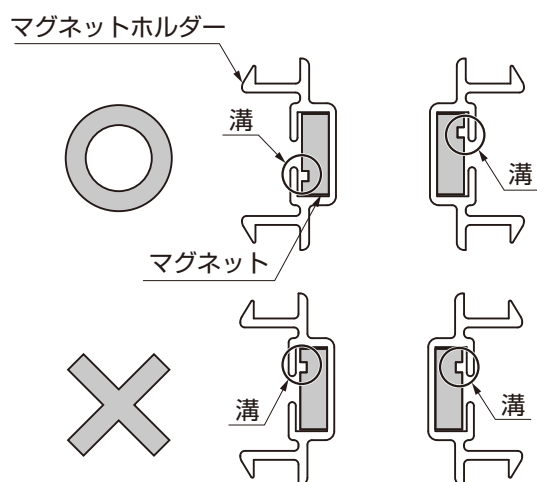


図12-4 引き分けの場合

① マグネットホルダーが戸当り枠（片引き仕様）もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

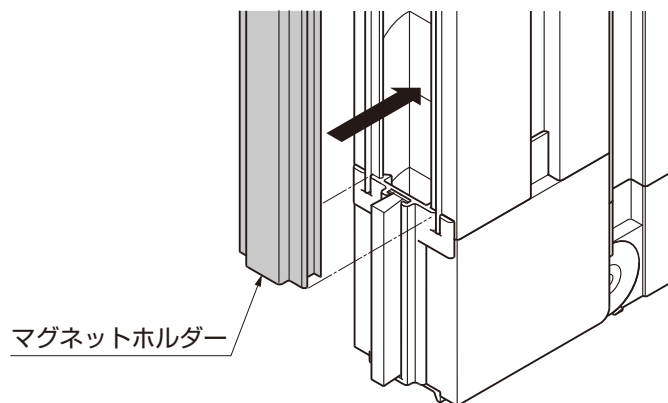
補足

● 図12-1、図12-2のようにマグネットホルダーがズれて固定される場合は、マグネットの溝を図12-3、図12-4の通りになしてください。

13. マグネットホルダーの取付け

ポイント

●全ての調整を確認した後に行なってください。



①マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ、押付け取付けてください。

②下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けてください。

14. キャタピラが外れてしまった場合

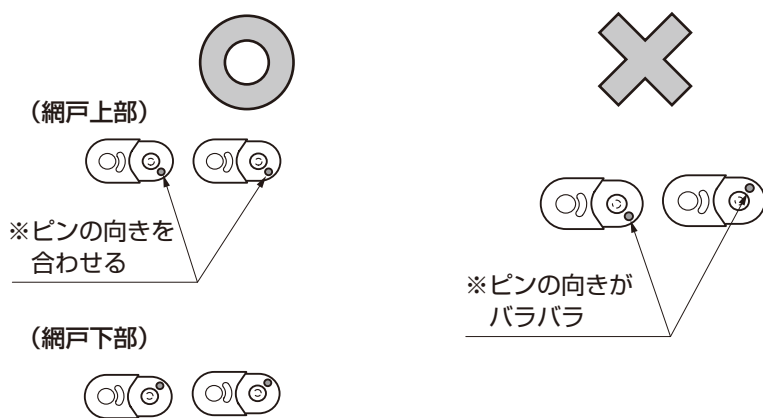


図14-1 キャタピラの向き

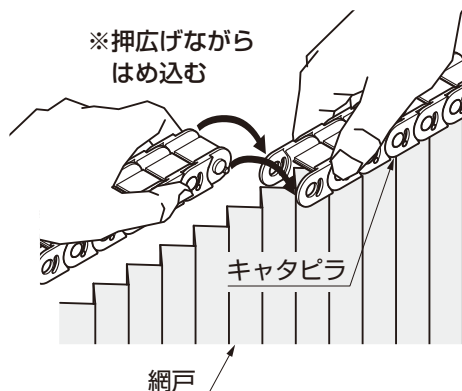


図14-2 キャタピラのはめ方

①図14-1のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。

補足

●図14-2のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

